



学校だより 2月 第397号

令和6年1月31日 発行

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>



令和の時代をたくましく生きるために

副校長

早いもので明日から2月になります。2月は1年の中で最も短い月で、あっという間に過ぎてしまうとも言われます。2月4日は「春が立つ」と書いて春の季節の始まりとされる「立春」と言われる日です。昔の暦では、このころが1年の始まりであるとされていました。江戸時代頃からは、毎年2月4日の立春の前日を「節分」と言うようになったそうです。しかし、3年前の2021年の節分は2月2日でした。私はその時まで節分は2月3日だと思いこんでいたのですが、節分は固定した日ではなく、「立春の前日」だということを知りました。立春の日がずれるのは「うるうどし」と同じ原理です。1年に少しずつ誤差が生じるため、それを調整するためです。太陽や地球の動きに関連してずれが生じることが、とても神秘的に感じます。また、正解だと思っていたことが、違うこともあるというおもしろさを感じることができます。

さて、先日の新聞で横浜市の人口が2021年をピークに下降線をたどり、50年後には2割減の301万人まで減少。およそ4人に1人が75歳以上になり、14歳以下は1割を切るという見通しの記事を見つけました。そんな状況から、「人口減少をどう食い止めるか」をみんなで実現しようと努力を重ねているところですが、全体が納得する方策は今現在、発見されていません。つまり、正解がないのです。

学校では、算数のように正解がはっきりした問題を正確に解決することも大事にしていますが、同時に正解がはっきりしない問題にも挑み、自分の考えをもつことができるようにすることも大切にしています。「正解を記憶し、テストのときに再現できる力」だけでは、子どもたちは、これからの社会を生き抜いていくことは厳しいかもしれません。正解がないことについて、多くの友達とアイデアを出し合い、全員が最適だと思うところで折り合いをつけ、決まったことを実行する。そして、実行に移して問題があれば、立ち止まって改善策を考える。こんな問題解決の経験を子どもたちができるようにしていきたいと思います。実現しやすいのは、「特別活動」や「総合的な学習の時間」かもしれません。

今年度の六つ川西小の子どもたちは、総合的な学習の時間などを通して、協力しあい、その中で課題解決のために知恵を出し合う活動が見られました。また、地域の人とのつながりを大切にして、自ら学びを創る姿も見られるようになりました。

残り二か月も、今年度身に付けた力をもとに、日々の積み重ねを大切にして、それぞれの子どもたちが有意義な学校生活が送れるように、教職員全体で支えていきたいと思っています。



まるまん〇2号店 2日間限定でオープンします！～みそ焼きおにぎり販売～

総合的な学習の時間の活動についてのお知らせです。六つ川4丁目にあった「まん〇」というお店で作られていた「みそ焼きおにぎり」を6年1組の子どもたちが作り、販売します。

100個限定です。奮ってご参加ください。

- 日時：2月 6日(火) 10時45分～11時45分
2月20日(火) 10時45分～11時45分
※2回実施します。

場所：六つ川西小学校 6年1組教室

値段：1つ150円

(売上金はすべて能登半島地震の募金にあてる予定です。)

対象：六つ川西小学校の保護者の方、地域の方(スリッパなどの履き物をお持ちください。)

